

補助金申請について

The
Rotary
Foundation



2021年1月30日 2790地区 補助金管理の説明会
ロータリー財団委員会 補助金プロジェクト小委員会資料

補助金の種類

1. 地区補助金
2. グローバル補助金
3. ロータリー災害救援補助金（2019年）
4. 大規模プログラム補助金（2021年）

内容は12月20日の奉仕委員会セミナーで発表済み

地区HPの委員会参照

1. クラブの参加資格(P23・DG・GG)

- クラブの参加資格認定：覚書（MOU）を、申請年度のクラブ会長、プロジェクト実施年度のクラブ会長と会長エレクトが署名して地区に提出する。
- 財務管理計画規定（様式201：DG・様式202：GG）を作成し、クラブで保管する。
- 最低1名の会員を、地区ロータリー財団委員会が開催する「補助金管理セミナー」に出席させる。

2. クラブの以外の参加資格(P23・DG・GG)

- RAC、IAC、ROTEX、RYLA 参加者、財団奨学生、米山奨学生等及びその経験者である学友会など（以下「**ロータリアン以外の参加者**」という）が申請を希望する場合は、それらを管轄するクラブか地区委員会が補助金管理セミナーに参加して、有効なMOU を地区財団委員会に提出して参加資格を得る必要がある。
- クラブが窓口になる場合はクラブからの申請とする。**地区委員会の傘下にある諸組織からの申請は地区委員会が申請者**となり、TRF へは地区からの申請とする。
- 地区委員会の傘下の組織には、前述の「ロータリアン以外の参加者、及びロータリアンからなるグループも含む。
- 奨学生は本人ではなく推薦クラブの申請とする。

地区補助金申請期日(P24)

提案書相談時期	2021 年3 月31 日まで随時
申請書提出時期	2021 年3 月1日～ 3 月31 日締切（当日消印有効）
審査期間	2021 年4 月1日～ 2021 年4 月17 日
交付時期	※前年度の補助金の報告書をTRFが承認し、ロータリー財団より地区に補助金が振込まれ次第 本年度は8月中旬
プロジェクト実施時期	2021 年8 月1日～ 2022 年3 月31 日
最終報告書提出期限	最終報告書提出期日プロジェクト終了後 1 カ月以内 最終期限は2022 年4 月30 日

地区補助金の活動の基準(P25)

- 第2790 地区ロータリー財団委員会では、地区補助金の対象となる活動と対象にならない活動について、以下のように定めています。

ロータリー財団の使命

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、
教育への支援を高め、貧困を救済することを
通じて、世界理解、親善、平和を
達成できるようにすること

地区補助金の活動の基準(P25)

- クラブが毎年継続して活動しているものについては、過去に申請され、承認されたものは、その後概ね5年間に1回申請することが出来ることとしています。事業内容が同一または類似で、対象者が異なる場合、減額の対象になる場合があります。

公園の清掃等を行っている場合、整備に地区補助金を使うのは5年に1回

地区補助金の活動の基準(P25)

- プロジェクトを遂行するために必要な、講師や出演者に提供する飲食の費用を補助金から支出する事は適格です。但し、ロータリアンに対する飲食費、プロジェクト主催側のスタッフ等に提供する飲食費、単純な宴会の開催は不適格です。
 - 講師の先生にお弁当を準備する → 適格
 - ボランティアスタッフにお弁当を振る舞う → 不適格
 - 老人ホームの居住者を料亭に招待して宴会費用を補助金で賄う、ロータリアンの費用は自分たちで負担する → 不適格

地区補助金の活動の基準(P25)

- 人道的な活動で、本当に困っている人々を支援する活動は適格です。
- 物品を贈呈する活動は、単に贈呈ではなく、ロータリアンが直接参加するような活動であり、不特定多数の人々のために利用されるものは適格です。特定の人に贈る場合は不適格です。
- 建物の新築と増築は適格です。既存の建造物の改装・修理も認められます。

地区補助金の活動の基準(P25)

- 地域社会のニーズが高い子供達の研究・学習・放課後のプログラム支援事業も可能ですが、補助金の対象にならない場合もありますので、事前に地区ロータリー財団委員会にご相談ください。
- 地域の障害者や高齢者のための支援活動は適格です（単なる娯楽的なものは不適格です）。
 - ディズニーランドに招待する → 不適格

地区補助金の活動の基準(P25)

- 主にロータリー以外の団体によって実施される活動に協賛して一緒に活動したり物品等を寄贈したりする活動は、ロータリー財団（TRF）の使命に関連している活動でロータリアンが積極的に参加するものについては適格です。
- 植樹や環境保全、環境美化活動、公園の遊具やベンチ、これらの維持管理道具類の寄贈は、地域社会全般に役立つものであれば適格です。
- 障害者をサポートして美術館等へ招待する活動は、障害者のチケット代は適格です。

地区補助金の活動の基準(P25)

- 史跡の標識やモニュメントに類したものは不適格です。
- プロジェクト実施のための**傷害保険料**は適格です。
- ロータリアンのための費用は、不適格です。但し、一部適格になる部分があります。
- ホームページの作成費用は不適格です。
- 単なる文化的な体験学習やイベントは不適格です。

地区補助金の活動の基準(P25)

- コンサートや単なる文化講演会は不適格です。
- お祭りや行事への協賛金、他団体が実施する活動への協賛金の贈呈は、不適格です。
- 海外で奉仕活動をする、またはプロジェクトの調査をするロータリアンの旅費は第2790 地区では不適格としています。
- 財団の使命にあてはまらない内容の事業に、ポリオ根絶の広報等を付け加えただけの事業は、減額の対象になる可能性があります。 → 後述

地区補助金の活動の基準(P25)

- 各クラブが毎年行っている奉仕活動が、財団の使命と一致するとは限りません。社会的に意義のある奉仕活動であっても、**授与と受託の条件**に適合しなければ、財団の補助金の対象にならない場合もあります。
- 競技会等に提供する物品（副賞・トロフィーなど）は、**常識的な金額**の範囲とします。

地区補助金の活動の基準(P25)

- コロナ対策に関連する事業を行う場合、感染拡大に対して十分に配慮を行う必要があります。感染防止に配慮した最小限度の範囲内でのロータリアンの参加を行ってください。ただし、物品の単純寄贈に伴うセレモニーの開催のみの事業は不適格です。
 - 消毒器具を単純寄贈し、贈呈式を行う → 不適格
 - 消毒器具を贈呈し、効果的な使用方法の講習会を最低限度の人数で行う → 適格

申請書作成の手順(P26)

- ① クラブ・委員会は、地区補助金の活動を立案します。
- ② 地区補助金を受領する銀行口座を開設します。口座名は任意です（昨年以前の担当者の名前が使われていても問題ありません）。
- ③ 2月初旬ごろに開催される補助金管理セミナーに参加し、地区とMOU（覚書）を交わします。
- ④ ガバナー事務所ホームページの地区委員会から、Excel のロータリー財団地区補助金申請書（様式311）をダウンロードし、記入します。

申請書作成の手順(P26)

- ⑤ 記入したExcel ファイルを①地区財団委員会補助金プロジェクト小委員会、②奉仕プロジェクト委員会にメールで提出します。メールアドレスはExcel ファイル内で指定します。送信するのは.pdf ファイルではなく.xls (.xlsx) ファイルです。
- ⑥ Excel ファイルを印刷し、「14. クラブ会長及び会長エレクトの署名」を直筆で行います。クラブの場合は「申請年度のクラブ会長」「次年度のクラブ会長」「次々年度のクラブ会長または次年度の幹事」の3名が署名を行います。地区委員会等の場合は「申請年度の委員長（責任者）」「次年度の委員長（責任者）」「次々年度のカバナー（申請年度のカバナーノミニー）」の3名が署名を行います。

申請書作成の手順(P26)

- ⑦ サインをした申請書の原本を、地区財団委員会補助金プロジェクト小委員会に郵送して下さい。申請書を複写したものではなく原本の提出が必須になります。締切日の消印有効です。
- ⑧ 事業の審査前に問題点が判明した場合、書き直しや訂正を行って頂く場合があります。その場合、補助金プロジェクト小委員会へのExcel ファイルのメール送信と、申請書の原本の郵送の両方を行って下さい。

予算超過時の減額措置(P27)

① 前年度の寄付実績に応じた削減

1人あたりの寄付額	掛け率
\$150以上	× 1
\$100～150	× 0.9
\$100未満	× 0.8

※前年度、年次基金寄付ゼロクラブはロータリー補助金授与の対象から除外されます。

予算超過時の減額措置(P27)

②事業内容の適切さに対する減額

事業内容を財団委員会で審査し、さらに減額の措置を講じます。減額の方法は、事業を個別に審査し、ロータリー財団の補助金として適切と思われない事業に対して個別に減額します。

- 駅前等の公共スペースに物品を寄贈し、セレモニーやコロナ啓発を行うだけの事業
- 公演等、毎年同一の事業内容で、対象者が異なるだけの事業

予算超過時の減額措置(P27)

③一般事業を対象に一律減額

一般事業を対象に一律に減額を行います。

財団委員会・クラブ間の連絡に関する注意事項

現在、財団委員会（委員を含む）とクラブ間の連絡は主に電子メールを使用して行われています。その際、メールが諸事情（うっかり未読、迷惑メールフォルダに送られた等）により見落とされた際の責任は、受信側が負います。重要な連絡を行うとき、または連絡に不安がある場合は、面倒であっても電話、FAX 等で確認をして下さい。

グローバル補助金申請期日(P32)

- グローバル補助金は、**年度を通じて**随時申請することができ、申請が受理された順に TRF 審査が行われます。

グローバル補助金申請の手順(P32)

① 調査提案

- 代表提唱者は現地調査を実施し、実施国・地域代表提唱者と協働して、『地域社会調査の結果フォーム』、事業計画書等を作成する。
- クラブは、地区ロータリー財団委員会に地区審査のための書類を提出する。
 - 1) グローバル補助金事業計画書（様式501）
 - 2) DDF使用申請書（様式511）
 - 3) 『地域社会調査の結果フォーム』

（DDF：地区財団活動資金）

グローバル補助金申請の手順(P32)

② 地区審査

- 地区ロータリー財団委員会は、補助金申請要件に合致しているか確認する。
- 地区ロータリー財団委員会は、確認の後、DDFの使用を承認し、クラブ（代表提唱者）のWeb申請を承認する（必要に応じ、Web申請等を支援）。

グローバル補助金申請の手順(P32)

③ Web申請・TRF審査

- クラブは、申請書記入後、地区ロータリー財団委員長及び地区ガバナーの承認をもらい、TRFにWeb申請する。
 - MyROTARYから申請する。
 - 審査期間は直近の事例で半年程度
 - 最近の変更点で口座情報の提出が必須となった